

◇高岡教区臨時教区会報告

去る七月十三日(月)、西本願寺高岡会館礼拝堂において二〇二〇(令和二)年度臨時教区会が開催され、二〇一九年度高岡教区各種会計決算について慎重審議の上、可決承認されました。

二〇一九年度決算の内容について、教区一般会計の総額では、次年度に繰越される二〇一九年度剰余金が千二百五十七万二千四百四十三円と、前年度比で百七十六万円以上の増額となりました。

『一般会計』の歳入全体では、予算額に対して八十二万八千九百円の増額となっておりますが、主要因として、「各種助成金」の増額があります。これは在家免物委託事務費が減額となったものの、当初予算には無かった寺院振興対策助成金・連区宗務懇話会助成金・重点プロジェクト推進助成金や門徒宗会議員補欠選挙が実施されたことによる助成金の収入があったために「各種助成金」全体では増額となっております。また、「雑収入」も増額になっていますが、これは千鳥ヶ淵法要団体参拝参加費・葬儀法要出向法礼・児童念仏奉仕団参加費が当初予算より減額になったものの、教務所長歓送迎会参加費・連区宗務懇話会参加費・平和を願うつどい入場整理券収入や印刷代収入・寄付金・その他で増額となったことによるものです。

『一般会計』の歳出では、「実践運動推進費」が大幅な減額となっておりますが、これは僧侶研修会や千鳥ヶ

淵法要団体参拝・同朋運動推進者養成研修会・実践運動教区委員研修会等の経費が当初見込みよりも大きく減額になったことによるものです。「会議費」は減額となっておりますが、諸会議費の連区宗務懇話会・教務所長歓送迎会・寺院振興対策委員会・将来構想委員会等の経費が当初予算より増えたために五十五万円増の予算補正を行っており、その補正予算に近い額になっていきます。「教務所費」の人件費では教務所長交代により給与費が減額になったことから大幅な減額となっております。また事務費でも通信印刷費・消耗品費・備品費・出張交通費・慶弔費・諸雑費・伝道車費など全ての費目で減額となりました。なお、昨年度より新設した特別会計『振興推進金庫』へ予算通り二百万円を回金いたしました。次に教区特別会計の決算ですが、『平衡資金積立会計』『転退職積立会計』は預金利息のみの変動となっております。『災害対策会計』では、皆さまからお寄せいただきました募金で東日本大震災への支援活動を行ってきましたが、昨年度でその会計を閉鎖したこととともない、剰余金百七十四万八千余りを災害対策費へ繰入れさせていただきました。支援金会計は閉鎖しましたが、東日本大震災への支援活動は昨年度も行っており、『災害対策会計』の「支援活動費」の費目から経費を支出いたしました。そ

の支援活動に対し全日本仏教会と高岡市から活動助成金が交付されています。「教化資料作成費」では、頒布収入が十六万円以上の増額となっていますが、これは当初予算より十万円減の予算補正を行っており、そのために決算では大きな増額となったものです。『子ども・若者ご縁づくり推進費会計』では、寺族青年会のご縁づくり活動に対して「推進費」の費目から助成金を支出したほか、「会議費」から委員会の開催経費を支出しています。『免物会計』は、収入の全ての費目で予算より増額となっていますが、これは免物交付にかかる「免物冥加」を二百四十万円、「本山委託事務費」を二十四万円、「教区事務取扱費」を二千円それぞれ減額する予算補正を行っているために予算より増額となったものです。支出の「免物申請冥加」も二百四十万円、「回金」を二十四万円減額する補正予算を行っていることから、前昨年度に比べると免物会計は収入・支出ともに減収・減額になっています。一般会計のところでも触れましたが、昨年度新設された「振興推進金庫」については、一般会計からの回金の他に西岡孝了前教務所長から寄付をいただき、当初予算より増額となっています。以上が令和元年度教区各種会計決算の概要です。

◇一般財団法人教学財団理事会・評議員会報告

去る六月十日及び二十五日、教学財団理事会及び評議員会が開催され、二〇一九年度の事業報告及び決算が慎重審議の上、可決承認されました。

二〇一九年度高岡教区教学財団決算について、まず、事業活動収入の部において、受取会費では、教学研究室賛助会費が前年度決算額に対し二万円減となっております。また事業収入の講座受

講料収入では聖典セミナーの受講料を収納し、受取賃貸料収入では、会館使用料等を収納いたしました。補助金等収入として、教区からの財団運営助成金として前年度決算額同額の三百万円を収納いたしました。また、寄付金収入では、一昨年退職をされました西岡孝雄前理事長より三万円のご寄付を納入いたしました。

次に事業活動支出の部では、旅費交通費支出では、理事会及び評議員会の交通費、通信運搬費支出においては各種送料の支出、修繕費支出では会館清掃料、ダスキン使用料等を支出、印刷製本費では、教学研究室紀要第一号の調製経費を支出、光熱水料費支出では、電気・ガス・水道料金の支出、保険料支出ではJA火災保険料の支出、諸謝金支出では、各種講師礼等を支出、負担金支出では会館永代経・報恩講等の供物・仏華・弁当代・その他を支出、助成金支出は、教区児童念仏奉仕団に対する助成金を支出、雑支出では公認会計士委託料等を支出いたしました。以上が二〇一九年度決算の概要です。

【別紙にて教区会計決算書及び財団決算書を同封しております。】

★令和二年七月豪雨「災害義援金」募集

今般、九州地方を中心に日本各地に甚大な被害をもたらした豪雨災害に関し、七月二十七日、教区災害対策委員会を開催し協議の結果、各ご寺院宛に一口、五千円以上の義援金（できましたら二口）をお願いすることとなりました。

先日、ご依頼文書及び振込用紙をお送りいたしましたのでご協力の程、よろしくお願いいたします。

なお、募集期間は二〇二〇年八月末日までです。

◇御同朋の社会をめざす運動のコーナー

―第六回同朋運動推進者養成研修会報告―

去る七月三十一日（金）西本願寺高岡会館礼拝堂にて第六回同朋運動推進者養成研修会が開催されました。

本研修会は同朋教団再生運動の推進者の目的として二年間全十二回の日程で昨年度より開催されているもので、三期目を迎えます。新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、前回より丸一年ほど期間が空いてしまったため、冒頭で第一～五回までの講義の主な内容を確認いたしました。

第一回「同朋運動に取り組む視座」では部落差別問題とは何か、なぜ同朋運動が始められたのかということを中心に学びました。第二回「部落差別の現実Ⅰ」では部落差別の定義とその実態について、第三回「部落差別の現実Ⅱ」では富山県における部落差別の実態と全国的にみても異様とさえ言える行政的な取り組みの少なさについて、第四回「本願寺教団と部落差別Ⅰ」では被差別部落に多数の寺院・門信徒を抱えながらも様々な差別（冥加金の割り増し、学階の制限、差別を正当化する布教等）をしてきた歴史的事実を学びました。第五回は座学で学んだことを実際に現地で聞き取るフィールドワークを行いました。

第六回となる今回はこれまでのテーマに引き続き「本願寺教団と部落差別Ⅱ」をテーマに、なぜ部落差別問題ということが教団の重要課題であったのかということを中心に講師の岩本孝樹さん（奈良教区奈良組常蓮寺住職）よりご講義をいただきました。

岩本さんは、部落差別問題の前提として、被差別部落が存在しない場所にも発生する問題（被差別部落出身であることを理由にした排除など）であるとし、差別の実態も江戸・明治・戦前・戦後と時代によって差別の内容や顕われ方も変化していることを考慮しなければならぬとされ

ました。また、差別問題において重要なのは差別を生み出す構造を問うことであり、現代においては格差社会という形で差別社会が形成されており、このように差別は形を変えて再生産されていくことを押さえておくことが重要と指摘されました。

その上で、なぜ私たちの教団でこの部落差別問題が重要課題とされたのかということについて、「差別を受けるのは前世の因果や業によるもの」「無理に平等な世の中を作ろうとすることは、仏教の教えである因果の道理を踏み外す『悪平等』である」と、教学の言葉で差別を正当化してきた教団の歴史があり、それを親鸞聖人の教えだと受け止めていた実態があることを挙げられ、親鸞聖人の教えを仰ぎながらも実際には同朋教団では無かったという認識から出発して始められたのが、教団の再生運動である同朋運動であったと述べられました。

また、差別を克服していくための取り組みとして①信心・み教えを振りどころとすること②差別問題に取り組むこと③同朋教団を作り上げていく努力をしていくこと、の三つのポイントを挙げられ「100%人権が保障され、差別のない社会というのは歴史上存在したことはないけれども、その具体的なヒントがお浄土であったのではないだろうか」「しかし、それとは全く反対のことをしていた教団と私たち教団人のあり方が問われたのがこの部落差別問題ということでありました」と指摘いただきました。

この同朋運動推進者養成研修会は単なる知識習得のための勉強会ではなく、差別克服のための取り組みと教団の再生を担う念仏者の養成を目的としています。部落差別は過去の問題ではなく、現在の社会や教団の中に根強く残り、今なお形を変えて息づいています。この取り組みが差別を克服していく一助となることを願っております。

【高岡教区教務所・教区主幹 岡西好持】

◇これからの日程（8/14～9/31）◇

8月	教区・財団行事	教化団体・組行事
14	常例法座（中止） 教務所盆休み（～17）	
19		非戦・平和学習会
20		B 講員研修会（石川） （中止） 仏婦広報委員会
22		B 保育大学講座（福井） （中止）
25	僧侶プレ研修会	
26	得度習礼講習会（～27） （福光教堂）	全国総代会総会（WEB）
28	得度考査（福光教堂）	
9月		
2		連区布教使研修会（石川） （延期）
9		仏婦組織委員会 B 組長会（石川）（中止）
10		仏婦教材委員会
12		全国真宗青年のつどい （延期）
14	常例法座（中止）	
16	僧侶研修会（第1回）	
17	僧侶研修会（第2回）	
18	平和のつどい	
25		仏婦・寺女合同研修会（龍谷高校） 養成研修会
26	僧侶研修会（第3回）	

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送（KNB）・738kHz.

◎毎週土曜日（本山制作）午前6:15～6:25

□第2・4日曜日（富山・高岡制作）午前6:00～6:10

□8/23（日）：伯水 永雄

（高岡教区）

◎8/29（土）：山本 仏骨氏

（大阪教区中島東組定専坊 元住職）

「人生をたたえよう(4)」

◎9/5（土）：花岡 大学氏

（奈良教区吉野北組浄迎寺元住職・児童文学作家）

「仏の手」

◎9/12（土）：花岡 大学氏

（奈良教区吉野北組浄迎寺元住職・児童文学作家）

「光る心」

□9/13（日）：未 定

（富山教区）

◎9/19（土）：花岡 大学氏

（奈良教区吉野北組浄迎寺元住職・児童文学作家）

「二つの穴」

◎9/26（土）：花岡 大学氏

（奈良教区吉野北組浄迎寺元住職・児童文学作家）

「泣いた男」

☆お知らせ☆

『法輪せんべい』販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょうか。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。

一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱（170袋）10,000円

・1組（10袋）600円

お申込み先は・・・高岡市東上関446 高岡教務所内
（寺族青年会担当）

Tel. (050) 5587-7708(代表)

Fax. (0766) 21-5152

【西本願寺高岡会館の常例法座】

新型コロナウイルスの拡大に伴いの下記の通り、常例法座を中止いたします。

記

8月14日（金）中止

9月14日（月）中止

以上